



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年06月11日 第873号「週刊五十嵐レポート」

モデルチェンジ

給食受託やカラオケなどを手掛けるシダックスはカラオケボックスの事業から撤退すると発表した。「カラオケ館」を運営するB&Vにカラオケボックス事業を売却する。「ひとりカラオケ」が増加、郊外型を軸とするシダックスは客単価の下落に耐え切れず採算悪化を招いた。今後は給食などフード事業に経営資源を集中する。

カシオ計算機はコンパクトカメラ事業から撤退すると発表した。スマートフォンに押され、年間出荷台数はピーク時の1割以下の55万台に落ち込んでいた(9割減)。今後は監視用カメラなど企業向けにシフトし、消費者向けは23年の歴史に幕を下ろす。

富士通は今年1月、競争が激しい携帯電話事業の売却を発表した。主力のITサービスに経営資源を集中する。(6月5日付、日経新聞より)

商品は人と同じように寿命がある。商品の寿命曲線を一般的にライフサイクルと呼んでいる。1.導入期。世の中にはじめて売り出された段階。2.成長期。商品が受け入れられ普及する段階。3.成熟期。普及は更に進むが伸び率は低くなる。4.飽和期。伸びが止まり、頭打ちになる。5.衰退期。売れ行きが年々減少する。代替品が出現すると急激に衰退していく。6.消滅期。世の中から消えていく。

トヨタ自動車は、2018年3月期に過去最高益を更新。2019年3月期も底堅い業績が続く。しかし豊田社長曰く、「ライバルも競争のルールが変わり、生死をかけた闘い」。自動車産業を取り巻く環境の厳しさを伝えた。電気自動車では中国企業の台頭。自動運転ではグーグル、アップルなどIT企業。

織機メーカーから自動車会社になったトヨタ。「企業グループのモデルチェンジをめざす。失敗を恐れず、良いと思うことは何でも挑戦する」(豊田社長)

仏教用語の「無常」。ものごとは瞬間、瞬間、変化していく。すべての現象は無常である。無常を受け入れられない者が衰退していくと思われる。

ちょっと
気になる出来事

6月2日付、朝日新聞夕刊に「左利きグッズを売り込め」という記事。国や人種を問わず、全人口の1割程度が左利きとされている。文具や調理器具のメーカーなどが、左利き用グッズのマーケットに熱い視線を注いでいる

左利きにとって「神ボールペン」だと絶賛され、約600万本売れたボールペンがある。セブラの「サラサドライ」。水性インクでありながら素早く乾く。左利きの人は書かれた直後の文字をこすりながら手が移動するため、手やノートが汚れてしまう。サラサドライにはそれが無い。

左利きの悩みを解消したペンが大ヒットしたことから、「左利き市場はかなり大きい」という動きになった。

左利き用のスプーンやフォーク。数年前に全国の小学校にスプーンを贈った際、どこも1割ほど左利き用の希望があったとのこと。

1割の市場。これが大きいかどうか。面白い市場ですね。私もハサミは左利きです。



一口メモ
知識

苦のものは、「嫌だ」と思うこと

「苦」とは、
パリー語の「ドゥッカ」という言葉を訳したもので、
「思うがままにならない」という意味です。

苦のものは、たったひとこと言えば、「嫌だ」と思うことです。
「嫌だ」と思った瞬間に、さらなる苦が生まれてくる。
「嫌だ」という思いから、あらゆる問題をつくってしまうのです。

この嫌だと思う気持ちと向き合うところから、
解脱への道が始まるのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

